事業費予算見積説明書

【事業名】
8579 下水道業務一般管理費

【事業概要】
下水道事業の財源である下水道使用料や受益者負担金について、外部の意見を聞くために下水道料金等審議会を開催する。
下水道使用料(課税売上)に係る消費税及び地方消費税を納付する。

事業の種別	B・D	補助の別	単独

【根拠法令等】

【補助（負担）金名】

補助（負担）率　国　県　市　その他

全体事業費

【事業予定期間】
継続

【事業目的】
独立採算制の下で下水道事業の経営の健全化について検討する。
消費税納付など、会計の事務処理を適正に行う。

所属課 30 下水道課

令和 4年度　当初
会計 025 下水道事業費特別会計
款 001 下水道費
項 001 総務管理費
目 001 一般管理費

【現状、背景】
下水道使用料の単価や料金体系、または受益者負担金の区域や単価に関わる変更を行う際には、審議会を開催する。
令和4年度に申告する令和3年度分の下水道事業に対する消費税については、工事費等の控除額と使用料等課税収入分が均衡するため消費税納付・地方消費税還付の見込である。また、令和4年度分消費税の中間納付を見込む。

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		135	580
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	135	580
	一般財源	0	0
補助基本額		0	0

【今年度見直し内容】

【その他】

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	135	90	△45	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	490	490
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	135	580	445

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	166
諸収入	6 3 1	消費税還付金	1357	413
諸収入	6 3 1	消費税還付加算金	1358	1

事業費予算見積説明書

【事業名】 8580 下水道使用料等賦課徴収事業	【事業概要】 下水道使用料や受益者負担金の賦課徴収に要する事務経費と、受益者負担金を一括前納した場合に交付する前納報奨金を計上する。（納入義務者は負担金額から前納報奨金を差し引いて納付する。） 下水道使用料は水道等の使用水量に応じて2か月ごとに賦課する。受益者負担金は１㎡あたり単価により算出し、下水道が整備された土地に対して一度限り賦課する。	事業の種別：Ａ・Ｂ・Ｄ　補助の別：単独 【根拠法令等】 【補助（負担）金名】 補助（負担）率　国　県　市　その他 全体事業費
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 独立採算制の下で、下水道事業の経営の健全化を図るために、汚水処理費（維持管理費、市債償還金）と建設費の一部に充てる財源を確保する。	
所属課 30 下水道課		
令和 4年度　当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 001 総務管理費 目 001 一般管理費	【現状、背景】 下水道使用料は、一般汚水は従量制かつ累進制(水量区分が上がると単価が上昇)によって算定し、温泉汚水(平成29年度に新設)は累進制を適用しないで算定する。汚水処理費に充当する。 受益者負担金は、１m2あたり単価420円（第１負担区は380円）×面積で算出する。年４期×5年間の20回分割で納付できるが、一括納付年数に応じて前納報奨金を交付するため５年分全納が約８割を占める。建設費と市債償還金に充当する。	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		15,307	17,690
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	15,307	17,690
	一般財源	0	0
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	8,436	10,432	1,996	22 償還金利子及び割引料	60	60	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	902	1,086	184	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	4,898	4,897	△1	26 公課費	0	0	0
12 委託料	927	1,165	238	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	84	50	△34	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	15,307	17,690	2,383

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	17,496
手数料	2 2 1	督促手数料（受益者負	513	27
手数料	2 2 1	督促手数料（下水道使	514	124
手数料	2 2 1	受益者負担金支払済証	1454	1
手数料	2 2 1	下水道使用料支払済証	1460	1
諸収入	6 1 1	延　滞　金（下水道使	519	10
諸収入	6 3 1	特別使用者分担金	523	1
諸収入	6 3 1	下水道施設占用使用料	4040	7
諸収入	6 3 1	雨水幹線等占用使用料	4041	23

事業費予算見積説明書

【事業名】	【事業概要】	事業の種別	D	補助の別	単独
8582 水洗化普及促進事業	公共下水道工事完了後は個々に宅内排水設備を設置して下水道に接続する必要があるが、施工技術を有する業者を市が指定し、指定業者が工事を施工することを義務付けている。 排水設備工事費用を市内金融機関が無利子で融資する制度を設けており、市は市内金融機関に融資額を預託するとともに融資手数料を支払っている。	【根拠法令等】			
		【補助（負担）金名】			

【事業予定期間】	【事業目的】
継続	排水設備工事指定業者制度により、工事の施工水準を確保する。 水洗トイレへの改造等に多額の費用を要するため、融資制度により負担軽減を図ることで接続率を向上させ、下水道の有効利用と生活環境の改善を促進する。

補助（負担）率　国　　県　　市　　その他

全体事業費

所属課 30 下水道課

令和 4年度　当初
会計 025 下水道事業費特別会計
款 001 下水道費
項 001 総務管理費
目 001 一般管理費

【今年度見直し内容】

【現状、背景】
排水設備工事指定業者は76社（令和3年7月5日現在）
融資制度は、融資額が1口10万円～100万円以下で無利子とし、平成30年度より連帯保証人を斡旋申込要件から除き、より利用しやすい制度となった。
令和２年度末の下水道整備区域内の接続済人口割合は80.8%。平成19年度から未接続の世帯を管理し、未接続理由等を把握するとともに、早期の接続を要請している。

【その他】

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		50,557	50,557
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	50,132	50,062
	一般財源	425	495
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	50,000	50,000	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	7	7	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	550	550	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	50,557	50,557	0

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
諸収入	6 2 1	元　金	520	50,000
手数料	2 2 1	排水設備工事指定業者	515	60
諸収入	6 2 1	利　子	521	1
諸収入	6 3 1	水洗便所等改造資金融	4954	1

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額

PAPR_L020MSETSUMEI_R2

事業費予算見積説明書

【事業名】 8995 日本下水道協会負担金	【事業概要】 下水道の普及促進に関する各種活動を行っている日本下水道協会に加盟して、協会運営に必要な会費を負担している。負担額は、人口、有収水量などをもとに算出される。	事業の種別: D / 補助の別: 単独 【根拠法令等】
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 日本下水道協会の構成員として、県や他市町村等と連携しながら、下水道の普及促進を図る。	【補助（負担）金名】 補助（負担）率 国 / 県 / 市 / その他 全体事業費
所属課 30 下水道課 令和 4年度 当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 001 総務管理費 目 001 一般管理費	【現状、背景】 日本下水道協会の主な活動内容は、下水道に関する経営と技術の調査研究、財源確保や施策実現の要望、技術指針や機関紙等の発行、情報提供、広報活動、講習会の実施等である。	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		91	92
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	91	92
	一般財源	0	0
補助基本額		0	0

【歳出内訳】 （単位 千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	91	92	1
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	91	92	1

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	92					

PAPR_L020MSETSUMEI_R2

事業費予算見積説明書

【事業名】 8996 下水道総務人件費	【事業概要】 下水道事業の財源である下水道使用料の賦課徴収、予算決算の経理、下水道への接続工事の確認、接続の促進、公営企業会計への移行等の事務に携わる職員の人件費。	事業の種別	D	補助の別	単独
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 独立採算制の下で下水道事業を適正に運営するとともに、下水道整備区域内の市民が早期に接続するよう促進していく。	【根拠法令等】			
所属課 30 下水道課		【補助（負担）金名】			
令和 4年度 当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 001 総務管理費 目 001 一般管理費	【現状、背景】	補助（負担）率	国 県 市 その他		
【今年度見直し内容】	【その他】	全体事業費			

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		30,738	49,572
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	27,404	45,916
	一般財源	3,334	3,656
補助基本額		0	0

【歳出内訳】 （単位 千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	15,524	25,398	9,874	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	9,350	15,060	5,710	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	5,864	9,114	3,250	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	30,738	49,572	18,834

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	45,916					

事業費予算見積説明書

【事業名】	【事業概要】	事業の種別	D	補助の別	単独
10462 中国四国地方下水道協会負担金	下水道の普及促進に関する各種活動を行っている中国四国下水道協会に加盟して、協会運営に必要な会費を負担している。負担額は、前年度日本下水道協会負担金をもとに算出される。	【根拠法令等】			
		【補助（負担）金名】			

【事業予定期間】
平成2年から開始
平成27年度から事業8995日本下水道協会負担金から分ける。

所属課 30 下水道課

令和 4年度　　当初
会計 025 下水道事業費特別会計
款 001 下水道費
項 001 総務管理費
目 001 一般管理費

【今年度見直し内容】

【事業目的】
中国四国地方下水道協会の構成員として、県や他市町村等と連携しながら、下水道の普及促進を図る。

【現状、背景】
中国四国地方下水道協会の主な活動内容は、下水道に関する経営と技術の調査研究、財源確保や施策実現の要望、情報提供、講習会の実施等である。

【その他】

補助（負担）率	国		県		市		その他	

全体事業費

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		17	17
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	17	17
	一般財源	0	0
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	17	17	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	17	17	0

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2　1　1	下水道使用料（現年度	511	17					

PAPR_L020MSETSUMEI_R2

事業費予算見積説明書

【事業名】
10463 鳥取県下水道協会負担金

【事業概要】
下水道の普及促進に関する各種活動を行っている鳥取県下水道協会に加盟して、協会運営に必要な会費を負担している。負担額は、前年度交付金額等をもとに算出される。

事業の種別	D	補助の別	単独

【根拠法令等】

【補助（負担）金名】

補助（負担）率	国		県		市		その他	

全体事業費

【事業予定期間】
平成2年から開始
平成27年度から事業8995日本下水道協会負担金から分ける。

所属課 30 下水道課

令和 4年度 当初
会計 025 下水道事業費特別会計
款 001 下水道費
項 001 総務管理費
目 001 一般管理費

【今年度見直し内容】

【事業目的】
鳥取県下水道協会の構成員として、県や他市町村等と連携しながら下水道の普及促進を図る。

【現状、背景】
鳥取県下水道協会の主な活動内容は、財源確保や施策実現の要望、情報提供、排水設備責任技術者の試験及び更新講習実施による施工技術向上等である。

【その他】

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		151	20
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	151	20
	一般財源	0	0
補助基本額		0	0

【歳出内訳】 （単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	151	20	△131
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	151	20	△131

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	20					

PAPR_L020MSETSUMEI_R2

事業費予算見積説明書

【事業名】 10770 公共下水道事業地方公営企業会計移行事業	【事業概要】 公共下水道事業について地方公営企業法を適用するために必要な業務のうち専門性の高い業務を外部委託する費用。 ①固定資産調査・評価業務（処理場、ポンプ場） ②公営企業会計システム構築業務	事業の種別 B　補助の別 単独 【根拠法令等】
【事業予定期間】 平成30年度開始・令和４年度終了	【事業目的】 民間企業に準じた地方公営企業法を適用することにより、長期的な計画に基づいた透明性の高い経営を行うことができる。	【補助（負担）金名】 補助（負担）率 国 県 市 その他 全体事業費
所属課 30 下水道課 令和 4年度 当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 001 総務管理費 目 001 一般管理費	【現状、背景】 総務省から公共下水道事業について令和２年４月１日までの法適用を要請されていたが、未完了。令和５年４月１日の移行に向けて事業を進めている。	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		49,146	34,548
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	49,100	34,400
	その他	0	0
	一般財源	46	148
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	11	11
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	63	63	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	49,146	34,474	△14,672	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	49,146	34,548	△14,598

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
地方債	7 1 1	公共下水道事業（公営	4459	34,400					

事業費予算見積説明書

【事業名】 9042 下水道建設人件費	【事業概要】 下水道施設（汚水管渠、処理場、水路等）建設の計画、設計、工事監督、受益者負担金の賦課徴収、補助金経理事務等に携わる職員の人件費。	事業の種別：D　補助の別：単独 【根拠法令等】 【補助（負担）金名】
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 公共下水道を早期に整備して、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除を図る。	補助（負担）率　国　県　市　その他 全体事業費
所属課 30 下水道課 令和 4年度　当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 002 下水道建設費 目 001 公共下水道建設費	【現状、背景】	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		43,861	39,244
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	22,300	33,000
	その他	900	1,300
	一般財源	20,661	4,944
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01　報酬	0	0	0	16　公有財産購入費	0	0	0
02　給料	22,587	20,337	△2,250	17　備品購入費	0	0	0
03　職員手当等	14,067	12,325	△1,742	18　負担金補助及び	0	0	0
04　共済費	7,207	6,582	△625	19　扶助費	0	0	0
05　災害補償費	0	0	0	20　貸付金	0	0	0
06　恩給及び退職年金	0	0	0	21　補償補填及び賠償	0	0	0
07　報償費	0	0	0	22　償還金利子及び割引料	0	0	0
08　旅費	0	0	0	23　投資及び出資金	0	0	0
09　交際費	0	0	0	24　積立金	0	0	0
10　需用費	0	0	0	25　寄付金	0	0	0
11　役務費	0	0	0	26　公課費	0	0	0
12　委託料	0	0	0	27　繰出金	0	0	0
13　使用料及び賃借	0	0	0	30　予備費	0	0	0
14　工事請負費	0	0	0	99　賃金	0	0	0
15　原材料費	0	0	0	計	43,861	39,244	△4,617

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
負担金	1　1　1	受益者負担金（現年度	509	1,300					
地方債	7　1　1	公共下水道事業	901	33,000					

PAPR_L020MSETSUMEI_R2

事業費予算見積説明書

【事業名】 9099 下水道管渠事業	【事業概要】 下水道汚水管の整備及び設計業務委託に係る費用で、境港２号汚水幹線築造工事(18工区)と、渡町、外江町、森岡町の汚水枝線工事12件、MP築造工事を発注し、約12.1ha(L=3.1km)を整備する予定であり、普及率は87.1%となる見込みである。また、境ニュータウン既設公共汚水桝の改修工事を実施する。	事業の種別 B ／ 補助の別 単独 【根拠法令等】 【補助（負担）金名】
【事業予定期間】 継続 所属課 30 下水道課	【事業目的】 下水道の未普及地域の市民に対して、早期に下水道を整備し、生活環境の改善を図る。	補助（負担）率 国 ／ 県 ／ 市 ／ その他 全体事業費
令和 4年度 当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 002 下水道建設費 目 001 公共下水道建設費	【現状、背景】 ①令和２年度末現在、普及率は82.0%、処理可能人口は27,412人であり、残りの対象者についても早期の下水道利用が求められている。 ②令和３年度は境港２号汚水幹線築造工事(17工区)と、渡町、外江町、森岡町の汚水枝線工事11件を発注し、約24.0ha(L=5.1km)を整備する予定であり、普及率は84.9%となる見込みである。汚水設計については外江地区等の委託を行う。 また、管渠についてストックマネジメント計画策定業務を委託する。	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		296,800	512,000
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	271,700	487,300
	その他	14,300	23,700
	一般財源	10,800	1,000
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	47,300	66,500	19,200
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	35,600	11,400	△24,200	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	213,900	434,100	220,200	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	296,800	512,000	215,200

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
負担金	1 1 1	受益者負担金（現年度	509	23,700					
地方債	7 1 1	公共下水道事業	901	487,300					

事業費予算見積説明書

【事業名】	【事業概要】	事業の種別	B	補助の別	単独
9140 浸水対策事業	下水道の整備区域内（事業認可区域内）の浸水被害を軽減するための水路整備・改修に係る経費で、令和４年度は下ノ川承水路の改修及び下ノ川雨水幹線の修繕工事を行う。また、令和３年度７月豪雨被害のあった市道外江72号線について側溝改修工事詳細設計を委託する。	【根拠法令等】			
		【補助（負担）金名】			
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 下水道の整備区域内（事業認可区域内）の主たる水路を整備・改修することにより、雨水を排除し、道路の冠水や建物の浸水を防いで浸水被害の軽減を図る。	補助（負担）率	国	県	市 / その他
所属課 30 下水道課		全体事業費			
令和 4年度 当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 002 下水道建設費 目 001 公共下水道建設費	【現状、背景】 大雨による浸水被害を軽減するため、汚水管渠整備工事にあわせて側溝・水路改修工事を行う。 令和元年度から令和３年度は国の防災・安全交付金を活用し、西工業団地貯水池の埋め立てに対応した排水路改修工事や西工業団地排水区樋門工事（国土交通省委託）を実施した。また、下ノ川の老朽化に対応して改修工事に着手している。				
【今年度見直し内容】	【その他】				

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		116,300	112,900
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	103,900	112,900
	その他	0	0
	一般財源	12,400	0
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	500	500
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	15,500	15,200	△300	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	100,800	97,200	△3,600	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	116,300	112,900	△3,400

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
地方債	7 1 1	公共下水道事業	901	112,900					

事業費予算見積説明書

【事業名】	【事業概要】	事業の種別	B	補助の別	単独
9434 下水道建設庁費	下水道施設（汚水管渠、処理場、水路など）建設の計画、設計、工事監督等を行う際に要する消耗品、通信費、積算システム借上料など事務経費。（人件費を除く）	【根拠法令等】			
		【補助（負担）金名】			

【事業予定期間】	【事業目的】
継続	公共下水道を早期に整備して、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除を図る。

補助（負担）率　国　　県　　市　　その他

全体事業費

所属課 30 下水道課

令和 4年度　　当初
会計　025 下水道事業費特別会計
款　　001 下水道費
項　　002 下水道建設費
目　　001 公共下水道建設費

【現状、背景】

【今年度見直し内容】

【その他】

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		495	3,070
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	100	2,900
	その他	0	100
	一般財源	395	70
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01　報酬	0	0	0	16　公有財産購入費	0	0	0
02　給料	0	0	0	17　備品購入費	0	0	0
03　職員手当等	0	0	0	18　負担金補助及び	0	227	227
04　共済費	0	0	0	19　扶助費	0	0	0
05　災害補償費	0	0	0	20　貸付金	0	0	0
06　恩給及び退職年金	0	0	0	21　補償補填及び賠償	0	0	0
07　報償費	0	0	0	22　償還金利子及び割引料	0	0	0
08　旅費	0	169	169	23　投資及び出資金	0	0	0
09　交際費	0	0	0	24　積立金	0	0	0
10　需用費	100	1,065	965	25　寄付金	0	0	0
11　役務費	0	259	259	26　公課費	0	14	14
12　委託料	0	532	532	27　繰出金	0	0	0
13　使用料及び賃借	395	804	409	30　予備費	0	0	0
14　工事請負費	0	0	0	99　賃金	0	0	0
15　原材料費	0	0	0	計	495	3,070	2,575

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
負担金	1　1　1	受益者負担金（現年度	509	100					
地方債	7　1　1	公共下水道事業	901	2,900					

PAPR_L020MSETSUMEI_R2

事業費予算見積説明書

【事業名】 11229 雨水管理総合計画策定事業	【事業概要】 令和４年度に、浸水シミュレーションに活用するための３Ｄ都市モデルを構築し、令和５年度から、雨水管理総合計画の雨水管理基本方針を策定するために、市内全域で浸水シミュレーションによる浸水リスク評価し、重点的に対策していくエリアや目標設定などを定める。令和７年度は、雨水管理方針に基づく重点的に浸水対策を整備するエリアの段階的対策計画を作成する。その後、雨水管理総合計画に基づく、下水道事業計画の変更を行	事業の種別：B　補助の別：補助 【根拠法令等】 【補助（負担）金名】 都市空間情報デジタル基盤構築支援事業
【事業予定期間】 令和４年度開始 所属課 30 下水道課	【事業目的】 雨水管理総合計画では、過去の浸水実績や浸水シミュレーションにより、下水道による浸水対策を実施すべき区域を明確化すること、雨水計画区域内の地域ごとに浸水リスク等に応じたきめ細かな目標を設定すること、投資可能額等を考慮しつつ、現在、中期、長期の時期の時間軸を持った対策方針を定めることを目的とする。	補助（負担）率：国 1／2　県　市 1／2　その他 全体事業費
令和 4年度　当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 002 下水道建設費 目 001 公共下水道建設費	【現状、背景】 従来の浸水対策では、汚水区域と概ね同一の区域において、一律に目標水準を設定し、浸水被害が発生した地域における事後対応を中心として整備を進めてきたが、「再度災害防止」、「事前防災・減災」、「選択と集中」等の観点から、浸水リスクを評価し、優先度の高い地域を中心に計画的な浸水対策を実施することが求められている。	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		0	21,945
財源内訳	国庫支出金	0	10,972
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	0	10,973
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	21,945	21,945	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	0	21,945	21,945

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
国庫支出金	3 1 1	都市空間情報デジタル	6606	10,972					

事業費予算見積説明書

【事業名】 11230 矢尻川雨水排水区内水対策事業	【事業概要】 矢尻川雨水排水区において、既往最大規模の豪雨等の内水による浸水被害を軽減するため、雨水幹線等の整備に係る経費で、令和４年度から国の交付金等を活用して、実施設計を進め、令和６年度以降に、順次、雨水幹線等の整備を進めていく。	事業の種別 B / 補助の別 単独 【根拠法令等】 【補助（負担）金名】 緊急自然災害防止対策事業債を活用
【事業予定期間】 令和４年度開始	【事業目的】 公共下水道により、雨水幹線、雨水ポンプ場を整備することで、気候変動を考慮した計画降雨に対して事前防災に努めるとともに、既往最大降雨による床下浸水を解消し浸水被害の軽減を図る。	補助（負担）率 国 / 県 / 市 1／1 / その他 全体事業費
所属課 30 下水道課 令和 4年度　当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 002 下水道建設費 目 001 公共下水道建設費	【現状、背景】 矢尻川雨水排水区の主要な水路は、昭和36年から農業用水路として整備されたものであり、都市化の進展、近年の気候変動の影響による豪雨から雨水流出量が増大に対して排水能力が不足している。その結果、豪雨の際には、内水のよる床下浸水等の浸水被害が発生している状況から、新規に雨水幹線等の下水道整備を行う必要がある。	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		0	56,496
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	0	56,496
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	56,496	56,496	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	0	56,496	56,496

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額

PAPR_L020MSETSUMEI_R2

事業費予算見積説明書

【事業名】	【事業概要】	事業の種別	B・D	補助の別	単独
8584 下水道センター維持管理事業	家庭や事業所などから排出された汚水を汚水管を通じて終末処理場（下水道センター）に集め、浄化して美保湾に放流している。下水道センターを維持管理するために必要な電気・修繕・薬品・汚泥処分などに係る費用を予算化している。平成29年度から、し尿・浄化槽汚泥を汚泥等受入施設に直接投入し、下水道汚水とあわせて浄化処理している。	【根拠法令等】			
		【補助（負担）金名】			

【事業予定期間】
継続

【事業目的】
下水道センターに集めた汚水を浄化処理することにより、公共用水域の水質を保全し、市民の衛生的で快適な生活の確保を図る。

補助（負担）率	国		県		市		その他	

全体事業費

所属課 30 下水道課

令和 4年度　　当初
会計 025 下水道事業費特別会計
款 001 下水道費
項 003 施設管理費
目 001 施設維持費

【現状、背景】
令和２年度は、年間2,542,005㎥（日平均：6,964㎥/日）の汚水を処理し、2,201ｔの脱水汚泥が発生している。汚水処理は、し尿2,296㎥、浄化槽汚泥4,718㎥の受入を含む。
循環型社会の構築のため、平成25年度から民間企業に委託して汚泥発生量の全量を炭化し、再資源化を行っている。

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		221,753	189,606
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	201,602	168,847
	一般財源	20,151	20,759
補助基本額		0	0

【今年度見直し内容】

【その他】

【歳出内訳】　　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	875	3,092	2,217
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	44	178	134
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	150	150	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	54,556	46,536	△8,020	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	672	738	66	26 公課費	0	0	0
12 委託料	165,530	138,868	△26,662	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	76	44	△32	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	221,753	189,606	△32,147

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	162,971					
諸収入	6 3 1	米子市旭が丘団地汚水	1831	5,876					

PAPR_L020MSETSUMEI_R2

事業費予算見積説明書

【事業名】
8585 管渠等維持管理事業

【事業概要】
管渠・マンホール・公共桝等の修繕、下水道台帳更新、汚水を終末処理場へ集めるため汲上げ又は圧送するマンホールポンプの修繕、運転経費等、汚水管渠施設の維持管理に係る経費。
下水道整備区域内の水路清掃、河口開削、修繕等、雨水排水施設の維持管理に係る経費。

事業の種別	A・B・D	補助の別	単独

【根拠法令等】

【補助（負担）金名】

補助（負担）率	国		県		市		その他	

全体事業費

【事業予定期間】
継続

【事業目的】
マンホールポンプ９個所（深田川、三軒屋東・西、竜ヶ山、弥生、渡中央・北・西、外江南）を含む既設汚水管渠施設と、下水道未接続の排水と雨水が集まる水路を適切に管理することにより、市民の衛生的で安全な生活環境の確保を図る。

所属課 30 下水道課

令和 4年度　　当初
会計　025 下水道事業費特別会計
款　　001 下水道費
項　　003 施設管理費
目　　001 施設維持費

【現状、背景】
マンホールポンプは平成10年三軒屋東・深田川、平成11年竜ヶ山、平成12年三軒屋西、平成25年度弥生団地、平成28年度渡中央、平成29年度渡北、令和元年度外江南、渡西が稼働している。
既存の汚水管渠、マンホール、公共桝、水路等の老朽化が進み、修繕等維持管理経費が増加傾向にある。

【今年度見直し内容】
下水道認可区域の拡大に伴い、大正川の清掃を一般会計から変更

【その他】

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		25,285	47,157
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	4,301
	地方債	0	0
	その他	20,072	20,400
	一般財源	5,213	22,456
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	167	167
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	136	136
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	6,667	7,920	1,253	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	323	308	△15	26 公課費	0	0	0
12 委託料	15,041	17,098	2,057	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	624	236	△388	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	2,630	21,292	18,662	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	25,285	47,157	21,872

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
県支出金	4 1 1	物件移転補償負担金	6592	781
国庫支出金	3 1 1	都市空間情報デジタル	6606	
国庫支出金	3 1 1	都市空間情報デジタル	6606	
県支出金	4 1 1	物件移転補償負担金	6592	3,520
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	20,400

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額

事業費予算見積説明書

項目	内容
【事業名】	8586 中継ポンプ場維持管理事業
【事業概要】	境地区などから排出された汚水を終末処理場（佐斐神町）へ集めるため、異物を取り除いてポンプアップする下ノ川中継ポンプ場を維持管理するために要する電気代・修繕料等の経費。
事業の種別	A・B・D
補助の別	単独
【根拠法令等】	
【補助（負担）金名】	
補助（負担）率	国 / 県 / 市 / その他
全体事業費	
【事業予定期間】	継続
【事業目的】	下ノ川中継ポンプ場の維持管理を適正に行うことにより、市民の衛生的で快適な生活環境の確保を図る。
所属課	30 下水道課
【現状、背景】	下ノ川中継ポンプ場は、境地区などからの汚水を集めて国道431号線沿いの汚水幹線へポンプアップするため平成13年に運転を開始した。
【今年度見直し内容】	
【その他】	

令和 4年度　　当初
会計　025 下水道事業費特別会計
款　001 下水道費
項　003 施設管理費
目　001 施設維持費

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		1,997	4,362
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,997	4,362
	一般財源	0	0
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01　報酬	0	0	0	16　公有財産購入費	0	0	0
02　給料	0	0	0	17　備品購入費	0	0	0
03　職員手当等	0	0	0	18　負担金補助及び	0	0	0
04　共済費	0	0	0	19　扶助費	0	0	0
05　災害補償費	0	0	0	20　貸付金	0	0	0
06　恩給及び退職年金	0	0	0	21　補償補填及び賠償	0	0	0
07　報償費	0	0	0	22　償還金利子及び割引料	0	0	0
08　旅費	0	0	0	23　投資及び出資金	0	0	0
09　交際費	0	0	0	24　積立金	0	0	0
10　需用費	1,544	1,244	△300	25　寄付金	0	0	0
11　役務費	19	19	0	26　公課費	0	0	0
12　委託料	434	3,099	2,665	27　繰出金	0	0	0
13　使用料及び賃借	0	0	0	30　予備費	0	0	0
14　工事請負費	0	0	0	99　賃金	0	0	0
15　原材料費	0	0	0	計	1,997	4,362	2,365

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2　1　1	下水道使用料（現年度	511	4,362					

事業費予算見積説明書

【事業名】 8698 下水道処理場事務人件費	【事業概要】 下水道センター（終末処理場）、下ノ川中継ポンプ場、マンホールポンプ場等の維持管理に携わる職員の人件費。	事業の種別 D　補助の別 単独 【根拠法令等】
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 家庭や事業所等から下水道へ排出された汚水を、下水道センター（佐斐神町）で適正に浄化処理してから美保湾へ放流し、公共用水域の水質保全を図る。	【補助（負担）金名】 補助（負担）率　国　県　市　その他 全体事業費
所属課 30 下水道課 令和 4年度　当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 001 下水道費 項 003 施設管理費 目 001 施設維持費	【現状、背景】 平成10年1月に3課を2課へ削減、平成15年1月に下水道課と下水道センターを下水道課3係へ統合	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		17,583	17,652
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	17,583	17,652
	一般財源	0	0
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	9,398	9,261	△137	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	5,223	5,349	126	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	2,962	3,042	80	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	0	0	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	17,583	17,652	69

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	17,652					

事業費予算見積説明書

【事業名】
8587 長期借入金元金償還金

【事業概要】
下水道施設（汚水管、処理場、水路等）を整備するには単年度では財源確保が困難であるため借入を行う必要があるが、住民負担を世代間で公平化（施設を利用する全世代で負担）するため、これまで借入した長期借入金の元金を返済する。

事業の種別	D	補助の別	単独

【根拠法令等】

【補助（負担）金名】

補助（負担）率	国		県		市		その他	

全体事業費

【事業予定期間】
継続

【事業目的】
下水道建設費の財源確保や住民負担の世代間の公平化を図るため、過去に借り入れた長期借入金の元金を返済する。

所属課 30 下水道課

令和 4年度　当初
会計 025 下水道事業費特別会計
款 002 公債費
項 001 公債費
目 001 元金

【現状、背景】
下水道事業特別会計の借入金残高は、令和２年度末で約108億円となっている。
市の中期財政計画では、下水道事業において将来の返済の適正額や毎年の借入額の上限を設定し、返済額を抑制するように管理している。

【今年度見直し内容】

【その他】

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		706,014	704,559
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	49,700	40,700
	その他	111,391	170,663
	一般財源	544,923	493,196
補助基本額		0	0

【歳出内訳】　（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	706,014	704,559	△1,455
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	706,014	704,559	△1,455

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
負担金	1 1 1	受益者負担金（現年度	509	46,673
負担金	1 1 1	受益者負担金（滞納繰	510	536
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	120,033
地方債	7 1 1	公共下水道事業（特別	3689	40,700
使用料	2 1 1	下水道使用料（滞納繰	512	3,421

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額

事業費予算見積説明書

【事業名】 8588 長期借入金利子償還金	【事業概要】 下水道施設（汚水管、処理場、水路など）を整備する際に、単年度では財源確保が困難であるため借入を行うが、住民負担を世代間で公平化（施設を利用する全世代で負担）するために、これまで借入した長期借入金の利子を返済する。	事業の種別 D	補助の別 単独
		【根拠法令等】	
		【補助（負担）金名】	
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 下水道建設費の財源確保や住民負担の世代間の公平化を図るため、過去に借入した長期借入金の利子を返済する。	補助（負担）率 国 県 市 その他	
所属課 30 下水道課		全体事業費	
令和 4年度 当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 002 公 債 費 項 001 公 債 費 目 002 利 子	【現状、背景】 下水道事業特別会計の借入金残高は、令和２年度末で約108億円となっている。 市の中期財政計画では、下水道事業において将来の返済の適正額や毎年の借入額の上限を設定し、返済額を抑制するように管理している。		
【今年度見直し内容】	【その他】		

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		147,539	137,502
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	7,100
	その他	146,773	127,747
	一般財源	766	2,655
補助基本額		0	0

【歳出内訳】 （単位 千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	147,539	137,502	△10,037
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	147,539	137,502	△10,037

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	2 1 1	下水道使用料（現年度	511	127,747					
地方債	7 1 1	公共下水道事業（特別	3689	7,100					

事業費予算見積説明書

【事業名】 9357 一時借入金利子償還金	【事業概要】 一時借入金とは、年度中で支払資金が一時的に不足した場合に借入する運転資金であり、借入により生じる利子を返済する。	事業の種別 D / 補助の別 単独 【根拠法令等】 【補助（負担）金名】
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 運転資金として一時借入金を一定期間借入した際に生じる利子を返済する。	補助（負担）率 国 / 県 / 市 / その他 全体事業費
所属課 30 下水道課 令和 4年度 当初 会計 025 下水道事業費特別会計 款 002 公 債 費 項 001 公 債 費 目 002 利 子	【現状、背景】	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		500	500
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	500	500
補助基本額		0	0

【歳出内訳】 （単位 千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	500	500	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 賃金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	500	500	0

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額

事業費予算見積説明書

【事業名】 8589 予　備　費	【事業概要】 当初予算計上時には予期できなかった事態に即応するためには、臨時市議会等において補正予算案の議決を経るのが原則であるが、軽微なものについてまで臨時市議会等を開催することは非効率なので、当初予算において使途を限定しない予備費を計上している。	事業の種別：D　補助の別：単独 【根拠法令等】 【補助（負担）金名】
【事業予定期間】 継続 所属課 30 下水道課	【事業目的】 臨時的・突発的に生じた事態に対して、予算措置の有無に関らずある程度即応できる経費を確保する。	補助（負担）率　国　県　市　その他 全体事業費
令和 4年度　　当初 会計　025 下水道事業費特別会計 款　003 予　備　費 項　001 予　備　費 目　001 予　備　費	【現状、背景】 予備費は、議会の否決した費途に充てることができないと法で定められているため、予備費を充当した費目及び金額は決算書に記載し、内容も監査時に明らかにしている。下水道事業特別会計では、平成19年度から2,000千円を予算措置している。	
【今年度見直し内容】	【その他】	

区分		前年度予算額	本年度予算額
事業費		2,000	2,000
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	2,000	2,000
補助基本額		0	0

【歳出内訳】

（単位　千円）

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01　報酬	0	0	0	16　公有財産購入費	0	0	0
02　給料	0	0	0	17　備品購入費	0	0	0
03　職員手当等	0	0	0	18　負担金補助及び	0	0	0
04　共済費	0	0	0	19　扶助費	0	0	0
05　災害補償費	0	0	0	20　貸付金	0	0	0
06　恩給及び退職年金	0	0	0	21　補償補填及び賠償	0	0	0
07　報償費	0	0	0	22　償還金利子及び割引料	0	0	0
08　旅費	0	0	0	23　投資及び出資金	0	0	0
09　交際費	0	0	0	24　積立金	0	0	0
10　需用費	0	0	0	25　寄付金	0	0	0
11　役務費	0	0	0	26　公課費	0	0	0
12　委託料	0	0	0	27　繰出金	0	0	0
13　使用料及び賃借	0	0	0	30　予備費	2,000	2,000	0
14　工事請負費	0	0	0	99　賃金	0	0	0
15　原材料費	0	0	0	計	2,000	2,000	0

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額

PAPR_L020MSETSUMEI_R2